

# 総務

平成29年度一般会計繰越明許費  
繰越計算書中、旧大和中央公民  
館解体事業

〔説明〕外壁の剥落などの危険性が高かったため解体することとしたが、工事着手時に、外壁の塗装にアスベストが含まれていることが判明し、事前に除去するため、2月定例会において補正予算と繰り越しを行っていた。現在、除去は完了し、工事に着手しており、8月末の完了予定としている。

# 文教福祉

一般会計補正予算中、障がい者  
就労支援施設等異業種連携推進  
事業費補助金

〔質問〕販売用の桜の苗木千数百本については、商品価値を高め、販売に向けてもつと真剣に取り組む必要があるのではないかと。〔答弁〕本事業は工賃アップに一役買うのではないかと、という期待を持って始めた事業である。今後、工賃アップにつながる事業に育つよう、しっかりと連携していきたい。〔質問〕人件費が7割程度かかっており、

〔質問〕以前、アスベストが問題になったとき、公共施設のチェックは行っていないのか。〔答弁〕外壁の塗装に含まれるアスベストは調査の対象になっていなかった。今回は、国からの通知により新たに追加となった。

〔質問〕通知はいつ来たのか。

〔答弁〕国から県への通知は、昨年夏だったが、県を通じて市が把握するのが遅くなった。

〔質問〕改めて一斉点検を行うのか。

〔答弁〕各事業に入る前に調査を行う。

# 常任委員会

工賃部分が非常に少ない。最も重要なのは工賃をいかに伸ばすかということだと思いが、その考えは。

〔答弁〕指導員に係る業務を障がいのある方だけでできるようにすることで工賃アップにつながると思うが、今は模索している状況である。将来的には、障がいのある方がどのような作業ができるのか、また、商品として出荷する際にいかに付加価値を加え、作業内容を広げるかを研究し、事業を拡大すべきであると考えている。

〔質問〕ある程度事業の将来性を見越した投資というのも大事だと思うが、その点に

# 同計算書中、佐賀駅周辺整備構 想事業

〔質問〕構想のエリアに西友部分も含まれているのか。

〔答弁〕現在の駅前広場周辺の再整備を前提に検討を始めていたが、西友の撤退が決まったため、一体的に構想に含められないか検討することとした。現在、地権者と話をしており、含めるか含めないかは、その状況を見て判断することになる。

# 市税条例等の一部を改正する条例

についてはどう考えているのか。

〔答弁〕きちんとサポートしていくことが必要であるが、年度末に一定の事業の評価を行った上で、補助についても検討すべきであると考えている。

# 佐賀市敬老祝金支給条例の一部 を改正する条例

〔質問〕実際に携わる方の意見を聞いておくべきと考えるが、今後、メニューについて検討していくことは可能なのか。

〔答弁〕あと1年ほどの期間があるため、これから十分に検討していきたい。ふるさ

〔説明〕地方税法の一部改正に伴い、条例の改正を行う。市たばこ税については、税率の段階的な引き上げ、加熱式たばこの課税方式の見直しのため規定整備を行う。

〔質問〕1箱当たり、いくらになるのか。また、税収はどれくらい上がるのか。

〔答弁〕重量のみでの換算から、価格を含んだ換算となるため、1箱の値段はわからない。税収については、現状からすると、5年後に1億1千万円程度の増収になるのではないかと考えている。

〔審査結果〕全ての議案について、原案を可決または承認すべきものと決定。

と納税の品物をそのまま使うのではなく、ふるさと納税の仕組みを活用したいと考えており、品物については佐賀市の特産品の中から選定したい。

〔質問〕受け取る方、間に入って橋渡しをする方のもっと考えた上で制度設計をする必要があるのではないかと。

〔答弁〕見直しの方法は、現金を祝品にかえるが、高齢者への敬意は変わらない。受け取る方の考えを尊重し、十分検討した上で改正する必要があると認識している。

〔継続審査するものについての採決結果〕賛成少数により否決。

〔審査結果〕全ての議案について、原案を可決または承認すべきものと決定。

## 経済産業

### 財産の取得（大規模環境制御型園芸実証施設基盤整備事業関連）

〔説明〕（佐賀市清掃工場の西側に隣接する民有地）地権者数16名、筆数36筆の約2・2ヘクタールを、約1億5千800万円で購入する。

〔質問〕買収金額の根拠は。

〔答弁〕不動産鑑定を依頼したところ、平米当たり7千200円の鑑定価格だったため、その価格で用地買収を行う。

〔質問〕土地取得後の活用について、土地

は賃貸するのか。また、契約年数はどれくらいを見込んでいるか。

〔答弁〕全農との役割分担で、市が基盤整備を行い、その後、全農に賃貸することになる。ただし、ハウスを建設する土地は、市と共同で行う事業となるため、その土地を除く約1・4ヘクタールが賃貸となる。



契約年数については、施設の耐用年数などを考慮して、これから詰めていくことになる。

〔質問〕提案理由に、「これにより、新たな農業生産技術を開発し、市内の農家への普及を図り、『稼げる農業』を推進したいと考えております。」とあるが、具体的にどう推進するのか。

〔答弁〕温度やCO<sub>2</sub>の管理など、これまで農家の熟練した技術や勘に頼っていたものを数値化し、農業生産技術を開発してパッケージ化する。あわせて、施設についても農家に安く提供し、稼げる農業を推進

していくことで、園芸産地を広げていきたい。

〔質問〕当初予算の説明資料では、平成30年度に用地取得と基盤整備を実施するとあったが、スケジュールは順調に進んでいると理解してよいか。

〔答弁〕非常に短い期間で事業を進めていく必要があるが、用地取得は順調に進んでいる。今後実施する基盤整備についても、一部の舗装工事等は繰り越しをお願いするようになると思うが、その他の工事については、今年度中に完了する予定である。

〔審査結果〕全ての議案について、原案を可決すべきものと決定。

# 常任委員会

## 建設環境

### 一般会計補正予算中、道路入トック改善事業

〔説明〕国の交付金事業である社会資本整備総合交付金を活用して、道路舗装補修及び自歩道照明のLED化を実施している。今回、交付額の決定に伴い、舗装補修事業に4千940万円、LED化事業に6千420万円の工事請負費の増額補正を行う。

〔質問〕どの地区の自歩道照明をLEDに更新するのか。

〔答弁〕北部地区は自歩道照明のLED化

は終わっている。旧市内を4ブロックに、南部4町を4ブロックに分け、計8ブロックでLEDへの取替基数が均等になるように、配分して実施する予定である。

〔質問〕具体的にはどの路線を実施するのか。

〔答弁〕路線については、自歩道照明は中学校の通学路の中から路線を選定して設置しているが、具体的な路線は今後の詳細設計の中で決めていくことになる。旧市内で言えば、明かりが少ない周辺部から中心部に向かって実施していきたいと考えている。

### 同議案中、街路事業費

〔質問〕補償費約8千400万円の内訳は。

〔答弁〕八戸天祐線街路整備事業において、九州電力、N T T、Q T ネット、佐賀シティービジョンの電柱移設について約1千万円程度。土地開発公社が先行買収した物件に対しての買い戻しに約7千万円強となっている。

〔審査結果〕全ての議案について、原案を可決すべきものと決定。

